

製品名: RFA2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82939**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,FC 1:200-1:400
分子量	29kDa

抗原情報

遺伝子名	RFA2
別名	RP-A p34, RPA2, REPA2, RPA32, RPA34
遺伝子 ID	6118.0
SwissProt ID	P15927
免疫原	大腸菌で発現したヒト RFA2 の精製された組み換え断片。

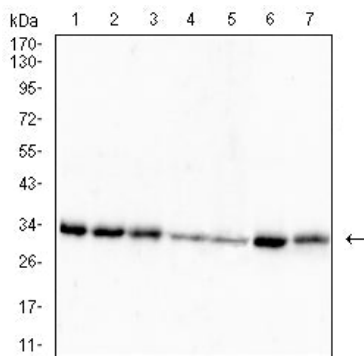
背景

この遺伝子は、一本鎖 DNA (ssDNA) に結合して、DNA 代謝において重要な役割を果たす核タンパク質複合体を形成するヘテロ三量体複製タンパク質 A (RPA) 複合体のサブユニットをコードします。この複合体は DNA 複製、修復、組み換え、テロメア維持に関与

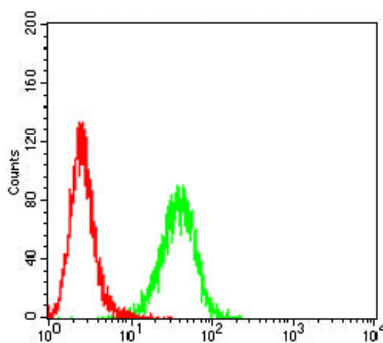
し、毛細血管拡張性運動失調症および Rad3 関連タンパク質 (ATR) キナーゼの活性化を介して DNA 損傷に対する細胞応答を調整します。RPA 複合体は、一本鎖 DNA をヌクレアーゼから保護し、修復を妨げる二次構造の形成を防ぎ、さまざまなゲノム維持因子のリクルートと離脱を調整します。ヘテロ三量体複合体には、低親和性モードと高親和性モードの2つの異なる ssDNA 結合モードがあり、これらは複合体のどのオリゴヌクレオチド/オリゴ糖結合 (OB) ドメインが利用されるかによって決まり、結合する DNA の長さが異なります。このサブユニットは、高親和性 DNA 結合に関与する単一の OB ドメインと、多くのゲノム維持タンパク質と相互作用するウィングドヘリックスドメインをカルボキシル末端に有する。RPA 複合体の翻訳後修飾は、様々な損傷応答経路の調整にも関与している。

研究分野

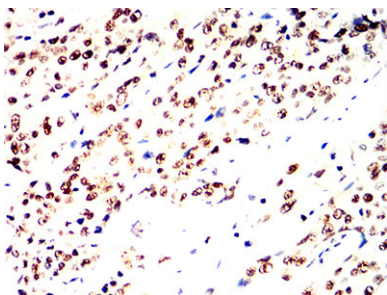
画像データ



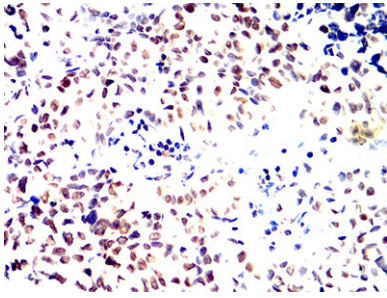
Hela (1)、MCF-7 (2)、T47D (3)、Ramos (4)、HEK293 (5)、HepG2 (6)、および A431 (7) 細胞溶解物に対する RFA2 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



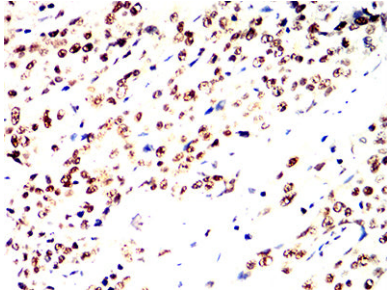
RFA2 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



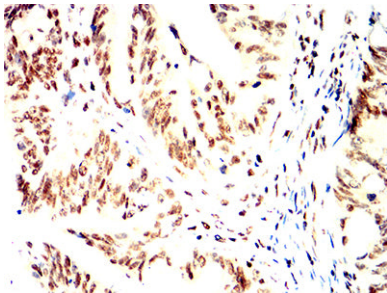
DAB 染色による RFA2 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト肝臓組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による RFA2 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による RFA2 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト食道癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による RFA2 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。